



## Bresils ヴァシュ

Sebastien Vachez (G), Boris Gaquere\* (G),  
Claire Lise Bardot-Hug+ (Fl) 私家版 SV 01  
フランス盤

●本誌No.424、490で紹介した仏のヴァシュの今回はブラジルをテーマにした作品集。自作の演奏と共にディアンヌやブラジルの名作の編曲作品等で纏めている。最近個性的な作品や演奏などで名前を目にする機会の多いガケールのデュオ作品も作者と共演している。なお、ディアンヌの〈ブラジル〉はギター・アンサンブル向けの作品であるが、ヴァシュがすべてのパートを多重録音で演奏／収録しているが、多様な楽章が統一されて表現されている。

ヴァシュは凝った作曲が巧く〈アサディエンヌ〉では無窮動的、対位法的な（と言うよりは高低2声）表現がおもしろい。技術的にも難しそうであるが、演奏効果があり聴き／弾き応えのある小品。

ヴァシュの演奏はフランス風というか、軽快で洒落たエスプリに富んでおり、最初の〈フェリシダージ〉からヴァシュ流が楽しめる。

[フェリシダージ (ジョビン〜ディアンヌ編) / カプリコーン\*、ブラジル (ディアンヌ) / イララ\* (ガケール) / 水とワイン (ジスモンチ) / アサディエンヌ、イリーナのバラード+ (ヴァシュ) / ブラジルの肖像 (パウエル〜ヴァシェズ編)]